

(公財) 海技教育財団 主催

「内航船員教育関係者連絡会議」 での講演が決定

令和5年2月28日に開催される「内航船員教育関係者連絡会議」において、全日本内航船員の会(松見 準)が講師を務めさせていただくことが決まりましたのでご報告いたします。主催の公益財団法人 海技教育財団から正式にご依頼をいただきました。

演題は「船員の離職原因の正しい見方と全てを変える解決策」です。

会議の参加者は、例年、国交省、日本船主協会、内航総連、海技教育機構、内航労務協会、日本旅客船協会、内航船社数社の方々と聞いております。全日本内航船員の会では、徹底した船員現場からの目線、或いは、内航船勤務経験のある元船員による俯瞰的目線から「内航問題」を考えてきました。これまでの一般的な議論とは違った切り口で、新人船員の離職原因を解き明かし、その解決策を提案します。

海事関係者が「船員になってほしい」と願う際に、「内航海運の認知度向上」に加えて、同時に解決しておかなければならないのが「受け入れる労働現場の改善」です。しかし、この2つの領域の難しい課題に、一つの方法で向き合える解決策がなければ、誰もが責任を持って「船員になってほしい」と言うことに躊躇いを感じるはずです。

本講演では、この2つの課題は一つの対策で解決していけることを示し、その策が今後の産業の健全な発展に欠かせない要素とも重なっていることに注目していただきたいと考えております。

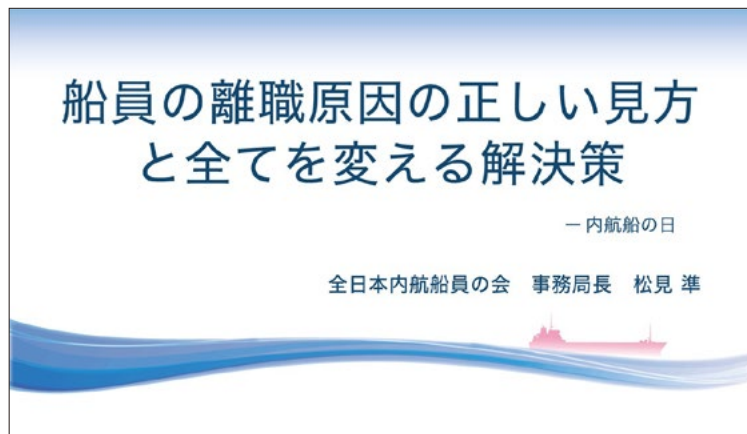
令和4年度 内航船員教育関係者連絡会議

日時 令和5年2月28日(火) 13時30分～15時30分

議事 4項目中3つ目 船員教育に関する意見交換

演題：「船員の離職原因の正しい見方と全てを変える解決策」

講師：全日本内航船員の会 事務局長 松見 準



以上